

和の生活マガジン SOKUJO

昭和54年6月18日第三号（郵便物認可）
2008年11月1日発行（毎月発行）第36巻第8号（通巻525号）

特集

江戸日本橋から始まる
きもの美人ストーリー

日本橋美人博覧会10月24日～11月9日

11

2008 vol.158

霜月号





特集

江戸日本橋から始まる きもの美人ストーリー

—日本橋美人博覧会10月24日～11月9日—

友禅染に型染、小紋染、織りでは唐織、金襴織、振り織など、
現在まで伝わる洗練されたきもの作りの技術は、
その多くが江戸時代に開花したといわれています。

庶民のファッション文化が成熟した天下太平の江戸時代。
その中心地であった日本橋には、

いったいどんな美人たちが闊歩していたのでしょうか。

今号では、各地で行われる秋のイベントの中から、

日本橋の街ぐるみで行われる「日本橋美人博覧会」に注目。

第一回の今年のテーマは「浮世絵で彩る日本橋」です。

きもの姿で巡れば、美的センスと教養にあふれていた

江戸美人を体感できるはず。

撮影：児玉成／着付け：アメイック／辻浩子／女性のきもの帯：三勝

撮影協力：山本海苔店、千足屋総本店、ロイヤルパークホテル、江戸日本橋観光めぐり事務局

協力：NPO法人東京中央ネット、アタチ版画研究所、ヤマダクリエイティブ

文：栗山久美子



日本橋 朝之景

「一日に三千両のおちどころ」と当時の川柳で詠まれた日本橋。朝は魚河岸、昼は芝居町、夜は吉原で、千両ずつのお金が落ちるといわれていました。浮世絵は、大名行列が早朝の日本橋を渡る様子を描いています。朝千両の魚河岸で仕入れた魚を、天秤に担いで市街に行商に行く魚屋たちのあわただしい姿も印象的です。

／データ提供：アタチ版画研究所

日本橋

江戸幕府によって五街道が整備されたときに、日本橋川に架けられた橋は、日本一の橋という意味を込めて日本橋と名付けられました。明治44年(1911)に現在の石造アーチ橋に改築され、帝都を華やかにモダンに演出したといわれています。高度成長期に橋の上に高速道路が開通してからは、その素晴らしい美観が失われましたが、平成11年(1999)には、国の重要文化財に指定され、現在に至っています。

◆薄桜色のきものは、同系色の紫格子の帯でまとめ、紅梅色の帯締をポイントに。／「江戸百撰シルクワール」：三勝

「日本橋美人推進協議会」プロデューサー 一中節宗家

対談

山田晃子×十二世都一中

心も身体も美しい！江戸から続く美人の条件

「日本橋美人」の副題に付けられているのが、「Japan Beauty from Edo-Tokyo」。つまり江戸から続く日本の美人という意味です。江戸城に直結し、商業の要となった日本橋は、後の百貨店につながる越後屋や白木屋を初め、数々の呉服屋が集中し、最先端の「粋」なファッション（きもの）に身を包んだ美人たちが街にあふれていました。そんな日本橋美人のルーツ、江戸美人の条件とは？

「日本橋美人博覧会」で総合プロデュースを務める山田晃子さんと、江戸時代に花開いた文化の一つ、三味線浄瑠璃「一中節」の十二代目を継承する都一中さんに語りあていただきました。



十二世 都一中 ●じゅにせいみやこいっちゅう

東京・九段の常磐津節三味線方の家に生まれ、父から三味線の手ほどきをうけながら育つ。東京藝術大学で長唄三味線を専攻。1975年より常磐津、清元、富本節などすべての流派のルーツとなる一中節宗家十一世都一中に師事。1981年に二代目常磐津文字蔵襲名、1986年に歌舞伎座立三味線昇格。1991年には十二世都一中を襲名する。繊細で優美な曲風が特徴の一中節は、芸術的価値も高いとされ、江戸時代の富裕層にもてはやされ、一世を風靡した。この伝統を継承しながら、レクチャーコンサート、初心者のための三味線講座の開講、海外での講演・演奏会などのユニークな活動で、一中節の普及に努めている。毎週日曜朝7時5分より、ラジオ日本で「都一中の我ら夢中人」放送中。

「伝統と最先端が共生する街・日本橋で、今、起こっていること」

都 ここ数年、日本橋は再開発や街ぐるみのイベントが活発に行われていて、ずいぶん変わってきたような気がします。「日本橋美人博覧会」は、どんな博覧会ですか？

山田 店舗や企業、ホテルなどが拠点となり、街全体を回遊するパビリオンのない博覧会です。各拠点に展示するのは浮世絵、日本橋の地域ブランド「日本橋美人商品」。その他には、日本橋の街巡りツアーやイベント、専門家による講演会などを実施します。

都 今までにない博覧会で、何だか面白そうですね。

山田 はい。日本橋は、江戸の文化を伝える老舗、名店と時代の最先端を行くショップ、日本銀行を中心とする金融街や観光名所など、さまざまな要素が共生した魅力ある街です。そんな日本橋を多く

の人に知っていただくには、まず、街を巡ってもらうことが大事ではないかと考えました。

都 山田さんを拝見していると、まさにきものが似合う「日本橋美人」という印象ですが、日本橋とは縁が深いのですか？

山田 ありがとうございます。きものは好きなので、もっと着る機会を作れればと思います。私は、東京杉並の出身です。美術系の大学を出て、企画デザイン会社を設立したのが、たまたま中央区でした。それをきっかけに青年会議所のメンバーとしても活動を行うようになり、中央区の街興しに関わるようになりました。私は、若い女性、つまり日本橋に勤めるOLさんたちが、アフターファイブに銀座や丸の内に出てしまうのではなく、日本橋で過ごしてもらえようということ

街がより活気づくのではないかと考えています。それで立ち上げたのが「日本橋OLクラブ」です。OLさんたちに、どうすれば日本橋が魅力的になるかというテーマで意見を出してもらい、積極的に取り入れて実現してきました。日本橋の地域ブランド「日本橋美人商品」の開発、「日本橋美人新聞」、「日本橋都市観光マップ」の発行などもその具体例です。



山本海苔店

(東京都中央区日本橋室町1-6-3 ☎03-3241-0290)

嘉永2年(1849年)に創業した山本海苔店。良品廉価をモットーにした乾海苔の販売により、「海苔は山本」の名声確立してきました。海苔に味を付けた「味附海苔」を創案したのも山本海苔店です。深みのある風味と香りの豊かな焼き立ての海苔を店内で楽しめます。

「中さんは、日本橋にはよくいらつしやるのですか？」
都 はい。つい最近まで、「室町福徳塾」という日本文化の体感施設で、「邦楽いろは」という講座を月に一度行っていました。私は東京九段で生まれ育ったのですが、二〇代のころから一〇年ほど、日本橋堀留町に住んでいたんです。人形町の交差点から少し行ったところで、ちょうど江戸時代から続く

刃物の老舗「うぎや」の前「Sakura」編集部のまさにご近所さんだったわけです。

山田 それはすごいご縁ですね。しかも「うぶげや」さんの真ん前な

「一中節は、江戸時代、上流階級のお嬢さまの習い事として流行

山田 江戸時代に確立されていったさまざまな伝統文化の中で、「中節も江戸時代に確立されたものなのでしょうか。」

都 はい。今回、この対談に迎り調べたんですが、一中節も日本橋に縁があったんです。発祥は京都ですが、日本橋材木町に素封家、今

んで。そのころの堀留町界隈はどんな雰囲気でしたか？」

都 あの辺りは織維問屋街ですから、歴史ある呉服問屋などもあつて、商人の町という雰囲気でした。

という財産家の勝田氏という方が住んでいて、一中節の宇治派を立ち上げたんです。それが江戸町人の上流階級の中ですこぶる流行した、と記録されていました。江戸末期以降にはもつと盛んになって、芥川龍之介や夏目漱石、森鴎外のエッセイや小説にも題材としてよく

出てくるんですよ。

山田 一中節の中で、美人を唄ったものはありますか？」

都 たくさんあります。「心中天網島」「競べ牡丹(くらべぼたん)」「吉原八景」とか。特に「心中天網島」などは、文楽や歌舞伎でも演じられていますが、いまだ

私が住んでいた所は、もうビルになつてしまいましたが、細い路地を入ると神社があつたりして、趣ありましたね。



山田 晃子 ● やまだあきこ

東京・杉並生まれ。女子美術大学卒業後、商業デザイン・企画制作のヤマダクリエイティブを設立。26歳のときに東京青年会議所のメンバーになり、地域や国内外交流のためのボランティア活動をスタートする。1999年に女性で初めて東京青年会議所中央区委員会委員長に就任。2000年に日本橋OLクラブを設立。2005年から日本橋美人を提唱し、中央区の街の活性化のためにさまざまな活動を展開している。著書に『日本橋美人 きれいを磨く34のエッセンス』がある。NPO法人東京中央ネット専務理事、日本橋美人推進協議会プロデューサー。

に近松門左衛門の原文を残しているのは、一中節だけといわれています。

山田 それはなぜですか？

都 歌舞伎や文楽は、庶民の前で興業するものであったので、分かりやすくするためにどんだん囃み碎いた内容になっていったのに対し、一中節のような三味線浄瑠璃は、ハインな世界のもの。つまり、旦那や嫁入り前のお嬢さんの教養の一つとして習われていたんです。非常に

難しい原文を語れることがステータスだったので、原文のままですよかったわけです。

きれいなだけではない、 教養あふれる女性が江戸美人

山田 当時の江戸美人というのは、こういう人だったのでしょう。

都 まず、美人としてもてはやされ敬われていたのは、吉原の遊女や

芸者でしょう。浮世絵のモデルにも、その手の女性が多いですね。江戸時代は、現代とはまったく価値観を異にした世界です。吉原なん

ていうのは、今の一流の社交クラブのようなもので、男はみんなそこに通って、最高級の遊女と価値ある一夜を過ごすことを、仕事と同じくらい重要に考えていたんです。最高級の遊女や芸者は、和歌は詠むし、お香の知識はあるし、三味線は巧いし、ものすごい教養があったわけです。一緒に過ごすことで教養を身に付けることもできました。

山田 謙虚と言いますと？



千足屋総本店

(東京都中央区日本橋室町2-1-2 日本橋三井タワー内 ☎03-3241-0877)

天保5年(1834年)、「水菓子安うり処」の看板を掲げ、果物と野菜類を商う店として創業。その後、日本初の果物専門店として愛され続けてきた老舗です。ここ日本橋三井タワー内にある日本橋本店は、季節のギフトが揃うショップ、フレッシュな果物を味わえるフルーツバーラー、レストランが2階に、カフェが1階に展開され、果物のおいしさをさまざまなスタイルで楽しめます。

◆鼠色の木綿のきものは、紫色の縞が入って粋な雰囲気醸します。黒地の帯でキリリとまとめました。／『江戸百撰木綿』:三勝

都 そういう世界に住む女性には、「お客に本気で惚れてはいけない、惚れさせてはいけない」というような勤務規定のようなものがあつたんです。つまり、あくまでも仮の関係であることが鉄則だったわけです。それもそのはず、通っているのは妻子がある旦那がほとんどだったわけですから、わきまえていなければ商売になりません。「心中天網島」に出てくる小春もとても心の美しい女性でした。で、妻のいる紙屋治兵衛と本気で愛し合ってしまう。両者とも掟破りとなり、最後は心中へと追い込まれていく……。正妻もまた非常に謙虚な女性で、自分のきものを質に入れて、夫を廓に通わせ小春に逢わせるんです。これは本当にあつた心中事件を近松が脚色した物語です。そんな男女の色恋沙汰が、大小あれども江戸時代にはあふれていたのでしょうか。

山田 今回の博覧会では、江戸美人を描いた浮世絵もたくさん展示されるのですが、そういうことを知って観るとまた趣が違ってきますね。

都 そうです。当時の美人というのは、外見の美しさだけでなく、ちよつとした仕草、ちよつとした言葉からあふれてくる、内からの教養が、見た目の美しさにもつながっている美人なんです。江戸時代の女性は、みんなそういう美人になりたいと願った。

山田 だから、娘たちも、浄瑠璃

やおど、茶道、華道など、芸の稽古を一所懸命したわけですね。
都 はい、そういうことです。また、芸を磨くということは、感性を磨くことにもなるので、季節感をき

ものに取り入れる感性や、そのきものに合わせる帯や小物などを選ぶセンスも、芸に良くなります。それがまた、美人につながっていくわけです。

江戸美人のルーツを受け継ぐ 「日本橋美人」

山田 私がずっと提唱してきた「日本橋美人」は、江戸時代から続く伝統を身近に感じることにより培われた教養や品格、粋(クール)などを大切にしている。心も身体も美しい「女性の総称」です。

都 まさにそれが江戸時代の美人ですよ！ 最近、「女性の品格」という本がベストセラーになりましたが、江戸美人は、本を読まなくても女性の品格というのがどういふものなのかを知っていたんです。
山田 今回の博覧会も、江戸美人からヒントを得て、「優」「粋」「知」「創」の四つの美のコンセプトで日本橋地域を四つにゾーニングしま

した。「優」「洗練された仕草」「粋」江戸っ子の美意識、「知」「先人からの叡智」「創」「伝統が培った技、という意味です。それぞれのゾーンの特徴に合わせた趣向で、浮世絵やイベントが楽しめる仕組みになっています。

都 それはそれは、二見の価値がありそうですね。
山田 今日は、江戸時代の美人の話がうかがえて、大変、参考になりました。ありがとうございます。

江戸で最高級になる遊女や芸者は、和歌は詠むし、お香の知識はあるし、三味線は巧いし、ものすごい教養があったわけですね。それでいて謙虚でした。(一中)

私がずっと提唱してきた「日本橋美人」は、江戸時代から続く伝統を身近に感じるにより培われた教養や品格、粋(クール)などを大切にしている。心も身体も美しい「女性の総称」です。(山田)



ロイヤルパークホテル

(東京都中央区日本橋蛸屋町2-1-1 ☎03-3667-1111)

江戸の下町情緒あふれる水天宮・人形町界隈に位置し、日本橋を散策する拠点として最適なのがロイヤルパークホテルです。同ホテルでは、散策マップ「ディスカバー江戸下町」を作成。日本橋が発祥の地とされる人力車に乗って、下町を散策できるコースもありおすすめです。

◆江戸美人好みのシックで粋なこげ茶色のきものに、薔薇の手描き八寸帯を合わせて、江戸情緒たっぷりの雰囲気までとめました。／きもの「江戸百撰ウール」：三勝

きもの「江戸百撰」のお問い合わせ ●三勝 ☎03-3661-8859 <http://www.sankatsu-zome.com>